

皆殺しの雄叫びをあげ
戦争の犬を切つて放て！

— シェイクスピア —

世界各国を巨大な衝撃と感動でのみこむ
話題のフォーサイス・サスペンス—遂に映画化！



THE DOGS OF WAR

戦争の犬たち

クリストファー・ウォーケン◆トム・ペレンジャー
コリン・ブレイクリー◆ホール・フリーマン◆ジャン＝フランソワ・スタブナン
監督ジョン・アービン◆総指揮ノーマン・ジュイソン◆製作ラリー・ドウェイ◆撮影ジャック・カーディフ
脚本ゲイリー・デボア/ジョージ・マルコ◆原作フレデリック・フォーサイス<角川書店刊>

カラー作品 ◆ United Artists ユナイテッド映画



戦争の犬たち



●待望、フォーサイスの最高傑作が

超スケールで映画化！

フレデリック・フォーサイス。国際政治の現場から読書界に殴りこみ、数々のエンタテインメントを発表し続ける超ベストセラー作家。「ジャッカルの日」「オデッサ・ファイル」「悪魔の選択」——そのどれをとっても無類の面白さで迫るサスペンスの結晶。

その彼の最高傑作が「戦争の犬たち」。

舞台は西アフリカの黒人独裁国ザンガロ。イギリスの大資本からキンバ現政権転覆をコミッションされた4人の戦争プロ（傭兵）たちが、決行へ向けて動き出した。驚くべき作戦準備をへて、戦場へなだれこんだ男たち。が、そこで彼らが見たものは——！？

戦争の犬と呼ばれる傭兵の実態、第3世界をめぐるダーティな政治構図、そして現代局地戦のハードな様相…。製作費2000万ドル（40億円）。圧倒的興奮とスケールをはらんで展開するスリル万点の戦争アクションだ！

●ウォーケン、ベレンジャー、

競う男の魅力！

戦略家としても超一流、戦場のただ中が生きる空間という傭兵のリーダー、シャノンに「ディア・ハンター」で人気沸とうの演技派クリストファー・ウォーケン。その右腕的存在の盟友ドルーに「新・明日に向かって撃て！」のトム・ベレンジャー。

対照的な個性ながら、独特の男臭さを漂わす2大スターの激突がまず見逃せない。

タフなアクションの中に、傭兵のロマンと悲哀をにじませて、80年代の男の魅力を鮮かに先取りしてみせる。

この他、いかにも傭兵というムードがぴったりのデレク役ポール・フリーマン、銃器のエキスパートであるミシェル役ジャン・フランソワ・スタブナンの好演も目を見張る。

監督は英BBC-TV出身の若手鬼才ジョン・アービン。彼をバックアップして、「屋根の上のバイオリン弾き」の名匠ノーマン・ジュイソンが総指揮に当たるという万全の布陣だ。

●ベールを脱いだ超破壊兵器

“MM1”とは？

戦争映画に登場する兵器類は、荒とう無けいなものを除き、現実には軍隊にすでに採用されている場合が殆んどだ。が、「戦争の犬たち」には、いま米英軍事筋が注目する最新兵器が一足早く登場する。クライマックスでシャノン、ドルーらが射ちまくるハンディ迫撃砲“MM1”で、140m先から普通のビルなら3、4発でこっぴみじんという破壊力。開発した米ホーク・エンジニアリング社によると、普通のマシンガンの50倍からの能力があるという。現在、米英両国防省が採用テストを行っているというから、兵器ファンは絶対見逃せない。！

●傭兵、その愛、戦い、そして死——。

中米→ニューヨーク→ロンドン→フランス→ベルギー→スペイン→西アフリカ…自らの戦争技能と報酬を引き換えに、熱いいのちのあかしを求めて世界を飛翔するプロフェッショナル・ソルジャー＝傭兵。「戦争の犬たち」は、そんな彼らの、壮絶きわまりない愛と戦いと死のスペクタクルだ。

ラスト。れい明のザンガロに殴りこんだシャノン以下傭兵が巻き起す、炎と爆撃のモンタージュ。「地獄の黙示録」で名を馳せたジョー・ロンバルディの特殊効果と、名手ジャック・カーディフのカメラワークが、見事なりズム感を叩き出す破壊シーンの傑作だ！

★スタッフ★

監督……………ジョン・アービン
原作……………フレデリック・フォーサイス
総指揮…………ノーマン・ジュイソン
撮影……………ジャック・カーディフ
音楽……………ジョフリー・パーゴン
特殊効果…………ジョー・ロンバルディ

★キャスト★

シャノン…………クリストファー・ウォーケン
ドルー……………トム・ベレンジャー
ノース……………コリン・プレイグリー
デレク……………ポール・フリーマン
ミシェル…………ジャン・フランソワ・スタブナン
ジェシー…………ジョー・ベス・ウィリアムズ

近日ロード
ショー

ヒビヤ 有楽座 (591) 5351

新宿プラザ (200) 9141

渋谷東宝 (461) 2268

特別鑑賞券¥1200(当日一般1500円/学生1300円)の処発売中！

上映時間 平日 12:30 2:40 4:50 7:00
日・祝 10:35 12:30 2:40 4:50 7:00
〈各館共通〉